

別記様式

会 議 録

| | | | |
|----------------------|-------------------------------------------------------|-------------|------|
| 会議の名称 | 平成30年度第3回戸田市外部評価委員会 (施策76 広報活動の充実) | | |
| 開催日時 | 平成30年10月5日(水) 13時00分 ~ 13時55分 | | |
| 開催場所 | 本庁舎階 505会議室 | | |
| 委員長等氏名 | 委員長 佐藤 徹 副委員長 長野 基 | | |
| 出席者氏名 (委員) | 委員 興松 敬史 | 委員 市ヶ谷 和親 | |
| | 委員 谷口 光弘 | 委員 西内 恵美子 | |
| | 委員 石田 美枝 | | |
| 欠席者氏名 | 無し | | |
| 説明のため 出席した者 | 政策秘書室 次長 櫻井 聡 課長 川上 裕丈 | | |
| 事務局 | 総務部 秋元次長 | 経営企画課 石川副主幹 | 須藤主事 |
| | 財政課 川角副主幹 | | |
| 議 題 | 1 開会 2 外部評価委員紹介 3 対象部局紹介 4 外部評価ヒアリング 5 閉会 | | |
| 会議の経過 及 び 会議結果 | 別紙のとおり | | |
| 会議資料 | ・平成30年度施策評価シート ・平成30年度事務事業評価シート | | |

(会議の経過)

| 発 言 者 | 議題・発言内容・決定事項 |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>1 開 会</p> <p>2 外部評価委員紹介 各委員の紹介を行った。</p> <p>3 対象部局紹介 評価対象部局の紹介を行った。</p> <p>4 外部評価ヒアリング（施策76 広報活動の充実） ○概要説明 担当部局から概要説明を行った。</p> <p>委員 ○ 事務事業の妥当性 当該施策においては、事務事業が1事業しかないが、行政情報の発信や配布活動など、施策の目的に挙げられている全ての業務を行っているのか。</p> <p>担当者 それらの取り組みは、本事業に含まれる。それぞれの業務を通じて目標を達成していく。</p> <p>委員 施策の目的において、「コミュニティ活動を促進」とあるが、施策72の地域コミュニティの活性化と、どう切り分けているのか。 また、コミュニティ活動が促進された状態とは、どういったことをいうのか。</p> <p>担当者 市の情報を発信することで、市民生活やコミュニティ活動の充実を図るとともに、広報紙配布について、町会及び自治会を活用することにより、コミュニティ活動の更なる促進を図っている。</p> <p>委員 促進はあくまで手段である。促進された状況とはどう捉えているのか。</p> |

| | |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 担当者 | <p>指標に掲げた広報誌の世帯配布率や toco ぷりのダウンロード数が達成された時が、促進された状況であると考えている。</p> |
| 委員長 | <p>施策72を実現するための手段として広報事業があるように読み取れてしまう。両施策の関係性はどのようなものか。</p> <p>また、広報活動の充実により、コミュニティを促進するという成果を、当該指標で計れるのか。</p> |
| 担当者 | <p>広報紙の配布にあたり、町会及び自治会を活用することで、町会未加入者の町会加入促進が図られ、加入者が増え、結果としてコミュニティ活動の促進につなげることをしていることから、促進された状態を計る指標としては、世帯配布率を設定している。</p> |
| 委員長 | <p>広報紙配布について、町会及び自治会を活用しているということだが、町会未加入者が増加したことによる「配布世帯数」と「コミュニティ活動の促進」について、直接因果関係は無いのではないかと考えるが、いかがか。</p> |
| 担当者 | <p>町会に対するアンケートの結果、本事業により、町会内のコミュニケーションが図られたり、町会・自治会への加入のきっかけとなっているという意見が多数あった。約8割の町会が、従来のような広報配布を継続していきたいと回答している。</p> |
| 委員長 | <p>広報紙配布は、町会等は無償で行っているのか。</p> |
| 担当者 | <p>協働推進課の予算において、行政連絡費として、市から町会へ支払っている。</p> |
| 委員長 | <p>市が持つ情報を市民に伝えるのが、いわゆる「広報」であると思うが、受け取った市民側の観点から成果を考えると、目的として、コミュニティ活動の促進を目指しており、そのための手段として、広報活動の充実を位置付けているという考え方でよいのか。他の考え方もあるのか。</p> |

| | |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 担当者 | <p>目的として掲げているとおりである。また、その他には、市からの最新の情報等を提供することにより、市民生活が便利に、豊かに暮らしていけるようなことを目指し、本施策を行っている。</p> |
| 委員長 | <p>市からの情報を受け、その先にコミュニティ活動の促進があると考えられるので、施策72とどう切り分けるのか。切り分けが難しいと感じる。</p> |
| 委員 | <p>指標に toco ぶりのダウンロード数が掲げられているが、現状としては、電子媒体という方向に向かっていると思う。高齢化が進む中では、紙媒体も必要であると考え。また、広報について、一度読んだだけで破棄されてしまう現状があることや、今後の広報誌の配布回数の削減を考えると、コミュニティ推進の観点から言えば、サークル活動の周知等は、広報だけではなく、周知対象者が多く集まる施設もさることながら、広報以外でチラシを作成する等を行い、市内全体に周知を強化していくのが良いのではないかと。</p> |
| 担当者 | <p>広報紙面には限りがある。サークル活動の周知については、多くの団体から広報掲載依頼があり、順番に記事を掲載している状況である。各施設で活動を行う団体のチラシは、主に活動を実施している施設で配布しているが、今後、それを市全域に広めるかどうかは検討課題である。</p> |
| 委員 | <p>広報紙の世帯配布率が伸びていない。町会未加入者への対応は何か行っているのか。</p> |
| 担当者 | <p>町会未加入者への対応としては、まず、町会に対して、未加入者に対しても広報誌の配布をお願いしている。新しいマンション等については、個別に連絡を取り、施設毎に配布をお願いしている。それ以外の方については、公共施設や市内3駅での配布に加え、今後は市内コンビニストアで配布することを予定しているが、なるべく多くの人に手に取ってもらえるような工夫をしていきたい。</p> |
| 委員長 | <p>町会未加入のマンションへは市職員が配布しているのか。</p> |

| | |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 担当者 | <p>管理人に直接窓口で渡している。</p> |
| 委員 | <p>広報紙は昔と比べて頁数が多くなっていると感じる。人口が増える中、伝える情報量も増えるとなると、どこまで増やしていくのか、どこまでが伝えたい情報とするのか。</p> |
| 担当者 | <p>頁数については、1日号は20頁、15日号は4頁となっている。情報が入りきらない場合は、増ページとして最大24ページとしている。行政内部はもちろんのこと、様々な団体から、こういった情報を載せてほしいという話がある中で、担当で選定しているところである。一方で、情報量の多さが市民に伝わりにくいという意見もある。広報の形態としてこういった掲載内容が望ましいのか、他の自治体の事例を調査し、検討していきたい。</p> <p>なお、現在は、ポスターやチラシにて周知しているものについては、広報には掲載しないなど、紙面における工夫は行っている状況である。</p> |
| 委員 | <p>○施策の進捗状況について</p> <p>進捗状況の判断について、施策の取組方針で掲げている、広報誌の配布方法についての検討及び toco ぷり等の新技術を利用するという観点では、現在行っていることを鑑み、予定通りの評価で良いと考えるが、指標の達成は低下している。そもそも、施策の目的、指標の達成に向けての進捗は、予定通りとしてよいのか疑問が残る。</p> |
| 担当者 | <p>広報配布方法の検討については、庁内での検討委員会の中で、民間事業者に委託し、全戸配布を行ってもよいのではないかと意見はあったが、町会に対するアンケート調査等の結果を踏まえて、現状の配布方法のままで世帯配布率を増加させていくこととした経過である。しかしながら、引き続き検討は行う。なお、人口増加に伴う町会未加入世帯の増加は、大きな課題であると捉えており、その他の手法も検討したいと考えている。</p> |
| 委員 | <p>指標の目標90%に対して、現在達成値64.1%となっており、当初値から年々低下しているが、これは予定通りなのか。例えば、年次目標はあるのか。</p> |

| | |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 担当者 | <p>年次目標については、随時見直している。現在は、前年対比1%上げることが目標としている。</p> <p>なお、補足として、先に申し上げた「手に取っていただける広報」ということに対して、町会加入者・未加入者への手渡し配布に加え、駅や図書館、大型店舗等での配布を合計した「総配布率」で計算すると、平成29年度は74.6%となる。</p> |
| 委員 | <p>広報の印刷数は、世帯数に比べて多いのか少ないのか。</p> |
| 担当者 | <p>実態に合わせたものとなっている。世帯数より少ない部数を印刷している状況である。</p> |
| 委員長 | <p>時代とともに情報伝達媒体は変わっていくものである。話を聞いた上で、施策の成果としては「市民が情報を受け取ることで市民生活が充実し豊かになること」と考えられ、それであれば情報を得られればよく、指標が広報紙でなくてもよいと考える。</p> <p>市民に対するアンケートにおいて、「市の活動を認知しているか、情報は分かりやすいか、市の情報をちゃんと受け取っているか」等の観点で調査をしているか。</p> |
| 担当者 | <p>そのようなアンケートは行っていないが、今後、市民意識調査等の項目に入れる等、実施について検討していく。</p> <p>また、情報伝達媒体の検討として、市ホームページ等のアクセス数を把握し、広報紙の配布について検討していく。</p> |
| 委員 | <p>○ 資源の方向性</p> <p>施策70において、地域資源を活かしたシティーセールスを掲げているが、この施策との切り分けはどうなっているのか。</p> |
| 担当者 | <p>本施策は、市内に向けた広報活動として実施している。施策70については、市全体のシティーセールスとして、内にも外にも広報活動を行っている。したがって、本施策はそれに含まれるものと考えており、第5次総合</p> |

| | |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | 振興計画の策定において、施策の見直しを図ることを検討している。 |
| 委員 | シティセールスに関連して、戸田市は子育てのしやすいまちと聞くので、「子育てのまち」ということを、誰でも情報を得やすいようにすべきではないか。 |
| 担当者 | 市長の重要施策である事業等については、市内外問わず、分かりやすくすることは重要であると考えている。市ホームページもわかりやすく表現していきたい。 |
| 委員 | 広報誌が月1回になることで業務量は減ると考えるが、事務事業の方向性が「現状及び維持」と示されているのは、何か理由があるのか。 |
| 担当者 | 広報紙を月2回発行しているのは県内でも少ない。広報紙を月1回にすることで、実施している事業内容のレベルを上げたいと考える。また、予算については、月に発行する総ページ数を変えないので、印刷費等は減らない。人件費については、広報誌の発行縮小による削減はあるが、見直しに係る業務等が増えるので業務量は変わらず、減ることはないと考えている。 |
| 委員 | 当該施策の予算ではないが、行政連絡費について、月単位の広報総配布数が減ることで、予算も減るのではないか。 |
| 担当者 | 費用計算は、配布枚数・回数ではなく、「配布世帯数」で計算しているため、減ることはない。 |
| 委員 | 新たな取組方針について、「新しい媒体」とあるが、どのようなものをお考えか。 |
| 担当者 | 既にフェイスブックやツイッターは行っているので、その他、インスタグラムや新宿のアルタビジョンによる放映等を考えている。 |
| 委員 | その予算としては、施策70のシティセールス事業に入るのでは。 |

| | |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 担当者 | そのように計上している。 |
| 委員 | それでは、当該施策で計上されている予算は、どのような事業があるのか。 |
| 担当 | 広報に係る全体の予算として、広報紙やテレビ広報の制作等に係る費用等が挙げられる。 |
| 委員 | テレビ広報の費用対効果を考える上で、視聴率を確認したい。 |
| 担当者 | テレビ広報としては、「ふれあい戸田」を、テレビ埼玉とジェイコムで放送している。ジェイコムでの視聴率は把握できないが、テレビ埼玉においては、毎年、さいたま市民にのみアンケート形式で視聴率調査を行っている。昨年度は、300世帯の調査で2%という視聴率あった。なお、昨年度限定で、戸田市民に対して、アンケート調査を行うことを事前に告知した上で視聴率調査を行った経過がある。その結果としては、150世帯で15.3%であった。 |
| 委員長 | 施策や事業の範囲が広い。内容として、単なる広報紙の発行事業とはなっていない。全ての部署の広報的な内容の業務が含まれていると考えるが、政策秘書室は、その事業の所管課としての位置づけなのか。 |
| 担当者 | 政策秘書室として、市全体の広報を周知する立場にあると考えているが、実際は、各所属において所管する事業の周知を行っている状況である。 |
| 委員長 | 広報に関するノウハウを集積している所属なので、他課に対して広報指導をしてほしいと考える。 |
| | 5 閉 会 |